

インベスター・リレーションズ・オフィサー (IRO) 養成講座 第2回開講のご案内

- 早稲田大学にて5日間の集中講座、8月16日(火)より -

IR活動の浸透と共に、IRの実務経験を活かしてIROとしてのキャリアアップを志向する企業人が増えてきました。また、どのようにIROを育成し自社の経営に貢献させるかという課題を担った経営陣や財務担当役員も多くいらっしゃいます。このようなニーズに応じて、昨年に引き続き早稲田大学では、8月16日(火)より、5日間の集中IRO養成講座を開講することとなりました。修了者には、早稲田大学から、IROとして必要な知識・ノウハウを習得したことを証明する修了証が授与されます。



[\[花堂靖仁早稲田大学教授 開講趣旨についてご案内\]](#)

「転換点を迎えたIR活動」

昨夏、「受動的IRから能動的IRへ」をテーマに第1回のIRO養成講座を、関係者の協力を得て開講し、お陰をもちまして受講者から高い評価を得ることができました。本年は、昨年の経験を踏まえ、わが国資本市場の実態に照らし、上場企業でありながらその企業価値が資本市場で適確に評価されていない発行体、あるいはIPOを目指す企業を対象として、IRの基本を学びつつ機関投資家の投資ユニバースに入れられない企業におけるIRのあり方をテーマにした「IRP(インベスター・リレーションズ・プロフェッショナル)養成講座」を去る7月2・3日の両日に開講いたしました。そこで、本年の第2回IRO養成講座では、投資ユニバースに含まれている発行体または投資ユニバース入りを目論んでいる発行体や企業を主たる対象にしてカリキュラムを作成いたしました。本年のテーマを「転換点を迎えたIR活動」とさせていただきますが、「転換点」を意識する主な事項としては次のものが挙げられます。



- 1) 既にSECファイリング発行体は取組まれている、開示書類への経営者の宣誓ばかりでなく内部統制への監査について、内国上場企業にも対応が求められようとしていること。
- 2) SECの新たな摘発に伴いReg.FDのあり方が改めて問い直されていること、および2003年12月に改められたMD&Aガイドラインに従って一般投資家への理解可能性の向上が一層強く求められはじめたこと。
- 3) 外人持株比率の上昇に伴い、コーポレートガバナンスや社会責任のあり様が問われるだけでなく、議決権行使に関する新たな対応が求められはじめたこと。
- 4) 相互持合の解消策として個人投資家への依存を高めようとするとき、インターネット取引を活用したデイトレーダーという新たなタイプの投機家への対処が必要になってきたこと。
- 5) アナリストが財務情報にもとづき投資価値を発見する伝統を尊重しつつも、財務情報の企業価値説明能力が低下するなか、昨年から始まった「知的財産報告」に加え、「社会責任報告」も一般化し、さらには「知的資産報告」のガイドラインが整備されようとしていること。この関係では、英国のOperating and Financial Reviewの制度化や米国のEnhanced Business Reporting Consortium等の動きを意識しなければならなくなったこと。

このようななか、IR活動としては、資本市場における自社のポジションを客観的に分析し、事業ドメインにおける潜在的能力のなかから自社のコンピテンシーが何かを時系列と関連させて明らかにし、自社の価値形成がどのようなプロセスで実現されるかを資本市場関係者に説得的に説明し、あわせてこれらの開示情報を投資家以外の主要なステークホルダーとも共有できるように、それぞれの関心と理解力に応じて提供することが求められております。このニーズに応えるため、早稲田大学ビジネススクールは、資本市場において発行体が適正な企業評価を引き出すためのマネジメント責任者であるIROを養成する講座を開講いたします。

【本講座の特長】

実務経験を活かし IRO へのキャリアアップを志向する者ないし執行役員として IRO を担うことになる者 20～25 名で構成する小人数編成

5 日間にわたり全 26 コマで編成する集中方式

早稲田大学ビジネススクールの専任教員に加え、IR をはじめ関係実務ないし関係実務教育のエキスパートを講師とする講義に 4～5 人を 1 グループとするケース作成実習を含む演習を併用

各講師が本講座のために準備する教材と関係資料

履修内容の修得証明と講座修了証の交付

【カリキュラムと担当者】(予定)

	8月16日(火)	8月17日(水)		8月18日(木)	8月19日(金)	8月20日(土)
1 時限 (9:30～11:00)	講座開始にあたって プレイズメントテスト 事務局連絡 花堂・事務局	IR 基礎編 企業価値向上と IR CFO の役割 高橋	1 時限 (9:30～10:30)	IR 応用編 米国における Reg.FD の展開 高山	IR 応用編 デット IR	IR 実務編 プレゼン
2 時限 (11:10～12:10)	IR 環境編 厚生年金基金連合会から 企業に期待するもの 矢野	IR 基礎編 会計基準と開示ルール の最近の動向 吉村	2 時限 (10:40～11:40)	IR 応用編 敵対的 M&A と企業防衛 岩田	IR 応用編 知財・非財務 情報開示の実践 芝坂	IR 実務編 プレゼン (認定評価) 花堂・北川・本多・宮永・高山
3 時限 (13:10～14:40)	IR 環境編 セルサイド・アナリスト から見た日本の IR 松島	IR 基礎編 商法改正と IR (含む:その他 IR 関連法規) 石綿	昼休み	IR 応用編 ケーススタディ打合せ 花堂・宮永	IR 応用編 IR 戦略立案研究 IR 活動の実際 本多	IR 実務編 プレゼン (認定評価) 花堂・北川・本多・宮永・高山
4 時限 (14:50～15:50)	IR 環境編 運用機関から見た 日本の IR 北川	IR 基礎編 情報開示の内部統制 鳥生	3 時限 (13:00～14:00)	IR 応用編 東証の開示への取組み姿勢 青	IR 応用編 IR 戦略立案研究 IR 活動の実際 本多	IR 実務編 総括 IR 担当者として知識・理論・ 情報をどう活用するか 花堂・北川・本多・宮永・高山
5 時限 (16:10～17:40)	IR 基礎編 資本市場の現状と課題 大崎	IR 基礎編 IR と企業財務 (EVA / 資本コスト) 西山	4 時限 (14:10～15:10)	IR 応用編 SEC の MD&A 改訂 本多	IR 応用編 IR 活動の課題 矢澤	修了式 および パーティー
6 時限 (17:50～18:20)	第 1 日目の総括 花堂	第 2 日目の総括 花堂	5 時限 (15:30～16:30)	IR 応用編 理論株価と IR 谷口	IR 応用編 IR 資料の分析と ケース作成 北川・宮永	
			6 時限 (16:40～17:40)	IR 応用編 知的資産経営報告の展開 住田		

8月18日以外は左端の時間割です。

【担当講師陣】(予定)

- | | |
|----------------------------------|--------------------------------|
| 1) 矢野朝水(厚生年金基金連合会) | 10) 本多淳(前松下電器 IR 担当者) |
| 2) 松島憲之(日興シティグループ証券) | 11) 谷口雅志(日本 IR 協議会) |
| 3) 大崎貞和(早稲田大学ビジネススクール・野村資本市場研究所) | 12) 矢澤洋一(日経 BP 監査役) |
| 4) 住田孝之(経済産業省知的財産政策室長) | 13) 松田千恵子(コーポレートディレクションズ) |
| 5) 吉村貞彦(早稲田大学ビジネススクール・新日本監査法人) | 14) 芝坂佳子(あずさ監査法人) |
| 6) 高橋文郎(青山学院大学) | 15) 北川哲雄(クレディ・スイス信託銀行) |
| 7) 石綿学(森・濱田松本法律事務所) | 16) 宮永雅好(アイ・アール・ビー株式会社) |
| 8) 鳥生裕(あずさ監査法人) | 17) 西山茂/花堂靖仁(早稲田大学ビジネススクール) |
| 9) 青 克美(東京証券取引所) | 18) 高山与志子/岩田宜子(ジェイ・ユーラス・アイアール) |

【受講料】

¥400,000(税別、教材費・懇親会およびパーティー費を含む)。なお IRP 養成講座ご参加の場合、¥350,000(税別)となります。

【協力関係機関】

日本インベスター・リレーションズ協議会

2005 年 7 月吉日

早稲田大学ビジネススクール
ジェイ・ユーラス・アイアール株式会社(事務局)

インベスター・リレーションズ・オフィサー(IRO)養成講座 受講お申込み書

Fax to: 03-3512-0908

早稲田大学主催
IRO 養成講座事務局 ジェイ・ユール・アイアール株式会社 行

2005年8月16日から8月20日に行われるIRO養成講座の受講を希望しますので、受講料振込み要領を送ってください。

貴社名	
ご所属・お役職	
ご芳名	
ご住所	
TEL	
FAX	
e-mail address	
その他の プログラム のご案内を	希望する 希望しない

注1) 個人情報保護法に基づき、「申込書」は厳密に取り扱わせていただきます。

注2) 本IRO講座は早稲田大学ビジネススクールがジェイ・ユール・アイアール株式会社に運営事務を委託しております。そのため、「申込書」および講座受講時にご提供いただいた個人情報は、早稲田大学・ジェイユール双方で管理させていただきます。あらかじめご了承ください。

お問い合わせ先
ジェイ・ユール・アイアール株式会社
担当者: 岩田・小松
TEL: 03-3512-0907
FAX: 03-3512-0908